

月刊 都響
February 2023



気を付けてね！ ホールでの過ごし方

- 携帯電話や音が鳴るモノは電源を切りましょう。
- 演奏中はお話しないで静かに聴きましょう！
周りの人も演奏を楽しみに来ています。
- 録音・録画、写真撮影は禁止です。

2023
2/19

Subscription Concert

第968回定期演奏会 C シリーズ

会場：東京芸術劇場コンサートホール

指揮／ヤン・パスカル・トルトゥリエ

ヴァイオリン／ベンジャミン・ベイルマン

♪ラロ：ヴァイオリン協奏曲第2番 二短調 op.21

《スペイン交響曲》(約34分)

♪ベルリオーズ：幻想交響曲 op.14 (約50分)

東京都交響楽団

PROGRAM NOTES

今日のコンサートでは、2人のフランスの作曲家による代表的な作品をお届けします。エドゥアール・ラロ（1823～1892）とエクトル・ベルリオーズ（1803～1869）です。20歳の年の差はありますが、2人は同時代を生きた音楽家です。

ラロ：ヴァイオリン協奏曲第2番 二短調 op.21《スペイン交響曲》

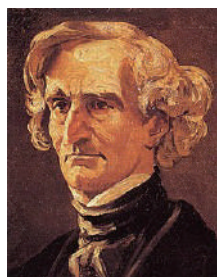
ラロの名前を初めて聞くという人は多いかもしれません。生まれはリールというフランスの北部の街で、のちにパリで学びました。ラロはヴァイオリンとヴィオラの演奏を得意としていたこともあり、器楽曲や室内楽の作曲に積極的でした。



1874年、ラロが51歳の時に作られた《スペイン交響曲》は、「交響曲」（オーケストラのための音楽）とタイトルにありますが、実際には独奏ヴァイオリンが活躍するヴァイオリン協奏曲です。これはスペインの伝説的なヴァイオリン奏者パヴロ・デ・サラサーテ（1844～1908）のために書かれたもので、全部で5つの楽章で構成されています。第1楽章の冒頭からインパクトの強いモチーフで開始し、ヴァイオリン独奏もその音型で続きます。軽快で明るい第2楽章、かつては省略して演奏される風習のあった第3楽章、ゆったりと歌うような第4楽章、輝かしく舞曲的な第5楽章はいずれも、スペイン的なリズムと情熱的な節回しに彩られ、ヴァイオリン独奏がキラキラと輝きを放ちます。

ベルリオーズ：幻想交響曲 op.14

コンサートの後半は、ベルリオーズの代表作《幻想交響曲》です。ベルリオーズはパリ音楽院の学生だった24歳のある日、イギリスの有名な劇作家シェイクスピアの演劇「ハムレット」を見に行きました。その劇に出演していたイギリスの女優、ハリエッタ・スミッソンにベルリオーズは恋をしてしまいました。すぐに彼は熱烈なラブレターを書き送りましたが、どの誰ともわからない学生の告白など、人気女優のスミッソンが相手にするわけありません。実らぬ恋に苦しんだベルリオーズは、その情熱を作曲にぶつけました。そしてオーケストラによる音楽で次のようなストーリーを描いたのです。



「恋に破れて傷ついた芸術家が、麻薬を飲んで死のうとするが死にきれない。さまざまな幻覚を見た彼は、幻想の中で失恋相手を殺し裁きを受ける」
そうして生まれたのがこの《幻想交響曲》です。全部で5つの楽章があり、それぞれに題名があります。第1楽章は「夢・情熱」。芸術家の憧れの人への恋心が描かれます。ゆったりとした序奏から、やがて音楽は明るく活力を帯びて

いきます。フルートとヴァイオリンによる流れるようなメロディーは恋する女性を表したテーマで、「イデー・フィクス（固定楽想）」と呼ばれます。ベルリオーズはこのメロディーを少し形を変えたり楽器を変えたりしながら、作品全体に散りばめています。**第2楽章**は「舞踏」です。芸術家は舞踏会で恋する人と再会します。軽やかで優雅なワルツが奏でられます。**第3楽章**は「野の風景」。冒頭でコーラングレ（イングリッシュホルン）が羊飼いのようにのどかなメロディーを奏でます。芸術家は野原で一人、叶わぬ恋の不安に苦しみます。**第4楽章**「断頭台への行進」で、恋に破れた芸術家は、夢の中で恋人を殺し、その罪で断頭台へと引かれていきます。不気味な行進曲の中で、高らかな金管楽器のメロディーが響きます。**第5楽章**は「魔女の夜会の夢～魔女のロンド」。芸術家は死後の世界で魔女たちの裁きを受けます。魔女のうめき声や、あざけるような不気味な笑い声が響きます。印象的な鐘の音の後、ファゴットとテューバが低い音で「怒りの日」というキリスト教の古い聖歌（グレゴリオ聖歌のレクイエム）の有名なメロディーを奏で、怪しい宴はクライマックスを迎えます。

ところで現実の世界では・・・

一度は恋に破れた若きベルリオーズですが、なんとこの「幻想交響曲」で一躍有名となり、女優ハリエッタとめでたく 1833 年に結婚することができました。



文／飯田有抄（クラシック音楽ファシリテーター）

指揮 ヤン・パスカル・トルトゥリエ Yan Pascal TORTELIER



往年の名チェリスト、ポール・トルトゥリエの長男として 1947 年にフランスで生まれる。4 歳からヴァイオリンを始め、ナディア・ブーランジェのもとで音楽教養を修めた後、シエナのキジアーナ音楽院でフランコ・フェラーラに指揮を師事。

BBC フィルハーモニックの首席指揮者（現在は名誉指揮者）、ピッツバーグ響首席客演指揮者などを歴任。これまでに、ロンドン交響楽団、パリ管弦楽団、ボストン交響楽団、東京都交響楽団など、世界各地の主要なオーケストラを指揮。シャンドス・レーベルと長期契約を結んでおり、録音も多い。

ヴァイオリン ベンジャミン・ベイルマン Benjamin BEILMAN



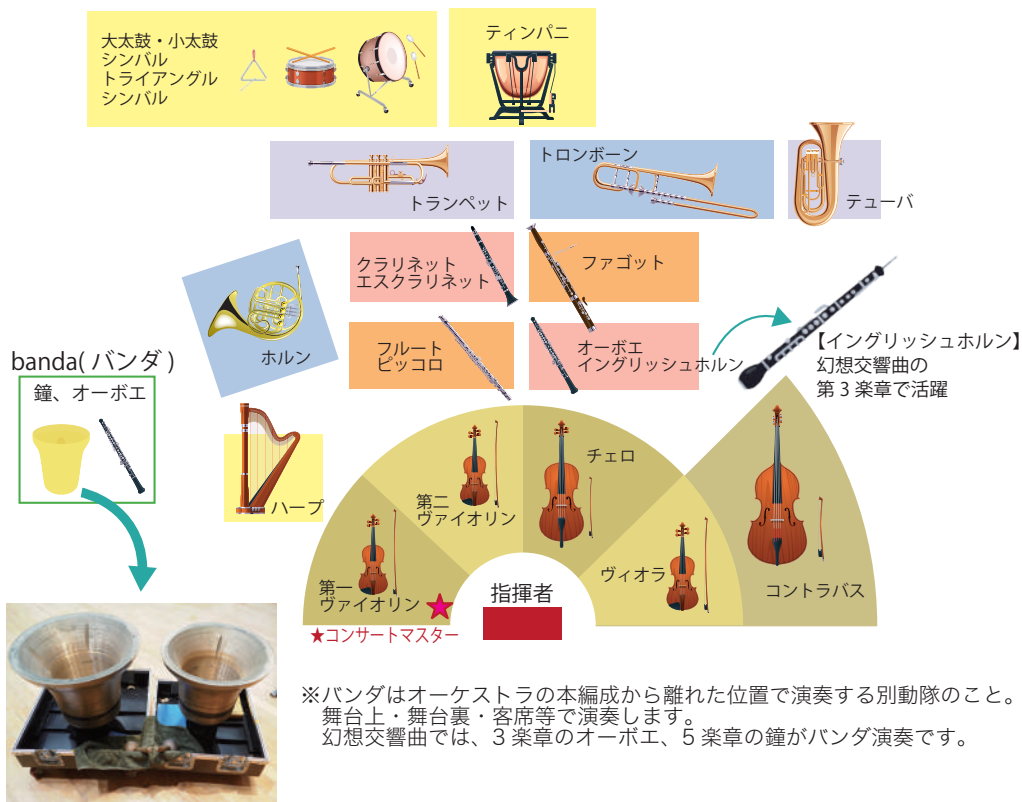
©Stefan Ruiz

カーティス音楽院を経て、クリスティアン・テツラフのもとクロンベルク・アカデミーで学んだ。2022 年 4 月、カーティス音楽院の教授に最年少で就任。

シカゴ交響楽団、ロンドンフィルハーモニー管弦楽団などと、ヤニック・ネゼ＝セガン、オスモ・ヴァンスからの指揮で共演。室内楽では、カーネギー・ホール、ベルリン・フィルハーモニーなどでリサイタルを行った。ストラヴィンスキー、ヤナーチェク等の作品を収録したアルバム『スペクトラム』をリリース。日本音楽財団保有のガールネリ・デル・ジェス 1740 年製ヴァイオリン「イザイ」を使用。

オーケストラ配置図（2月19日 第968回定期演奏会Cシリーズ）

どの曲にどの楽器が使われているかにも注目してみてください。
楽器の配置は一例です。当日のステージで確認してください。



TMSO 東京都交響楽団



東京オリンピックの記念事業として
1965年に東京都が設立しました。
都響（ときょう）という愛称で親しま
れています。

上野の東京文化会館を本拠地として、サントリーホールや東京芸術
劇場などで定期的にオーケストラの演奏会を開催しています。その他、
交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）や『Fate/Grand Order』など
ゲーム音楽の演奏や、都内の小中学生を対象に開催している音楽鑑賞教室、
病院や福祉施設への出張演奏など多彩な活動に取り組んでいます。



2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、
「オリンピック賛歌」の演奏（大野和士指揮／録音）を務めました。